

<白金標準先物、対ロシア経済制裁でSWIFTからの排除は買い・・・>



(出所：オアシス)

消費者物価指数（CPI）を受けて1月27日に付けた高値3850円を超え一時3873円まで高値を試した白金標準先物は、ブロード・セントルイス連銀総裁の発言を受けた金利高の要因でドル高を背景とした貴金属売りに押されている。またカナダと米国の国境を往来するトラックドライバーに対するワクチン接種の義務化の問題で、抗議活動が国境閉鎖に結び付き、サプライチェーンの混乱を受けてトヨタや本田などが生産停止の処置を発表、それに伴いNY白金は1008ドルまで反落している。

しかしロシア軍とベラルーシ軍の合同軍事演習は20日まで実施される事から、ウクライナ情勢における地政学的なリスクの高まりは強まっている。特にバイデン大統領はプーチン大統領に対して侵攻した場合は「米国は同盟国とともに断固とした対応をとり、重い代償を払わせる」と改めて警告している。特に対ロシア経済制裁処置で国際銀行間通信協会（SWIFT）から排除されればロシア企業が海外に商品輸出ができなくなる。特にロシアの財・サービス輸出のドル決済比率は56%と高水準であり、ロシアのプラチナ供給は20トン占めるなど需給バランスが供給不足へと転換する可能性も高まる事から、白金標準先物でも3700円を下回る事は難しいと思え、押し目買い方針の対応が妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDがシグナルを下回りMACDとシグナルは切り下げている。しかしRCIでは短期が切り下げているが、長期は+80%以上を維持するなど強気の継続を示しており、押し目買いの対応が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 462,000 円(2022 年 2 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 2 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>